

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2025年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科		
科目名称	LD・ADHD等教育総論						授業形態		講義	
科目コード	750148	単位数	1単位	配当学年	3	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	石本 隆士								ICT活用	
授業概要	学習障害、注意欠陥多動性障害の特性や二次的な障害についての理解と共に、通常の学級をはじめとする各学びの場の教育課程や指導・支援の在り方について理解する。また、自立活動における個別の指導計画の作成や具体的な指導内容の設定、自立活動との関連を踏まえた各教科等の学習指導案の作成等について理解する。 通級指導教室及び特別支援学級での指導経験を活かし、学校の現状を踏まえながら理解を図れるようにする。									
関連する科目	特別支援教育総論、特別支援教育									
授業の進め方 と方法	プレゼンテーションを用いた講義を中心としながら、ペアでの意見交換やグループによるディスカッションを行い、学生が自ら考えたり、他者との対話を通して思考を深める機会を設ける。									
授業計画 【第1回】	LDとは LDの定義と特性、言語障害の定義と特性、二次的な障害									
授業計画 【第2回】	ADHDとは ADHDの定義と特性及び二次的な障害									
授業計画 【第3回】	言語障害やLD・ADHDのある子ども学びの場 実態把握と必要な配慮、特別な指導内容									
授業計画 【第4回】	通級指導教室での指導 特別の教育課程と個別の指導計画、カリキュラム・マネジメント									
授業計画 【第5回】	自立活動の指導 個別の指導計画に基づく学習指導									
授業計画 【第6回】	自立活動の指導と各教科等の指導との関連 困難さに対する指導上の工夫の意図を理解して行う個に応じた支援と個別の指導計画									
授業計画 【第7回】	通常の学級における指導・支援 ユニバーサルデザイン教育とICT等の活用や適切な教材・教具									
授業計画 【第8回】	関係者との連携を踏まえた指導・支援 家庭や医療、福祉、労働機関、特別支援学校、小学校等との連携									
授業の到達目標	1. 学習障害や注意欠陥多動性障害の要因である脳機能に関わる特徴とそれらの相互作用並びに二次的な障害を理解している。 2. 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する力を育むことを目指し、特別の教育課程を編成し、個別の指導計画に基づく指導・支援を行うことを理解している。 3. 学習面や行動面での困難さに対する指導上の工夫の意図を理解して、ICTや適切な教材・教具を活用するなど個に応じた手立てを行う必要性や自立活動の指導との関連を踏まえた各教科等の指導について理解している。 4. 家庭や医療、福祉及び労働機関との連携、通常の学級と通級指導教室、特別支援学校と小学校等との連携の重要性について理解している。									
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)									

授業時間外学習【予習】	授業の中で自分の考えや他者との話し合いを行うため、各自で授業内容について確認や予習をしておく。（30分程度）
授業時間外学習【復習】	学習内容の確認レポートや小テストを実施するので、復習しておく。（1時間程度）
課題に対する フィードバック	レポートや小テストについては、授業の中で解説をする。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価する。 1) 授業に臨む態度（ペア・グループワーク参加への積極性）とレポート、小テスト等の内容（20%） 2) 定期テスト(80%)
テキスト	テキストは使用せず、適宜、資料を用意する。
参考書	特別支援学校学習指導要領解説総則編（幼稚園・小学部・中学部）文部科学省（2017） 特別支援学校学習指導要領解説各教科等編（小学部・中学部）文部科学省（2017） 特別支援学校学習指導要領解説自立活動編（幼稚園・小学部・中学部）文部科学省（2017） 障害のある子供の教育支援の手引 文部科学省（2022） 齋藤万比古編(2009)、発達障害が引き起こす二次障害へのケアとサポート、学研。（1,900円＋税）
備考	